



みんなで楽しい学級をつくっていくためには、
わたしたち一人一人がどうすればよいか、考えてみましょう。

えがおいっぱい

あおいのクラス三年二組の学級目ひょうは、『えがおいっぱい』です。この目ひょうは、クラスのみんなで決めて、教室の前に大きく書いてあります。でも、休み時間になると、男の子たちはボールを取り合って、けんかをしています。女の子たちも、教室のすみっこで、こそそおしゃべりをしています。あおいは、

（これが『えがおいっぱい』のクラスなのかな……。
ちがう気がする。）

と思いました。学級会するとき、あおいは思いきって、

10



「みんなで決めた学級目ひょう『えがおいっぱい』になっていないと思います。いいました。」

みんな、さいしょはびっくりしていましたが、学級委員のみのりが、
「もっとえがおがいっぱいになるように、どうすればいいかみんなで考えようよ。」
と、あおいの言葉につづけていってくれました。

5

「みんなが、もっとなかよくすれば、えがおがいっぱいになると思います。」
「自分がされたいやなことを、友だちにしないようにすれば、えがおがふえると思います。」
「自分のことだけじゃなくて、みんなのことを考えるとえがおになると思います。」

「みんなといっしょに、楽しいことをいっばいして、
えがおいっぱいにしたいです。」

10

「こまっている友だちがいたら、声をかけてあげる
とえがおになります。」

みんなから、たくさんの意見が出てきました。あ
おいも、

「けんかしている友だちがいたら、そのままにしないで、なか直りさせてえがおをつくりたいです。」
と発表しました。

15



みんなの意見を取りまとめ、三年二組の『えがおいっぱいせん言』ができました。

えがおいっぱいせん言

ぼくたち、わたしたちは

えがおをいっぴいつくります。

- ・けんかをしたら なか直りて えがお
- ・相手がいやがることはしないで えがお
- ・楽しいイベントいっぴいで えがお
- ・助け合って 声かけあって えがお
- ・みんなのことを考えて えがお

『えがおいっぱいせん言』のまわりには、みんなの顔の絵をはりました。新しくできあがった目ひょうを見て、みんなが、

「えがおいっぴいのクラスにするぞ。」と心にちかいました。

学びの手引き

1 『えがおいっぴい』になっていないと思います。』と思いきっていったとき、あおいはどんな気持ちだったでしょう。

2 みんなで話し合って、『えがおいっぴいせん言』ができたとき、あおいはどう思ったでしょう。

3 『えがおいっぴい』のクラスとは、どんなクラスだと思えますか。話し合ってみましょう。

4 三年二組のよいところはどこでしょう。

みんなが、
思っていることを
いい合える
ところだと思ふな。



ジャンプ

クラスの一員として、自分たちがえがおいっぴいになるための方ほうを考えてみましょう。

ドッジボール大会に向けて
みんな全力でえがお！

そうじの時間を
がんばってえがお！

休み時間もなかよく
みんながえがお！



5 学級目ひょうがどうしてあるのか、考えてみましょう。